

独自の技術を強みとした機能性フィルムの開発・展開、グローバルでの事業拡大に向けた投資を積極化

2023-2025年度 中期経営計画レビュー

2026-2028年度 中期経営計画

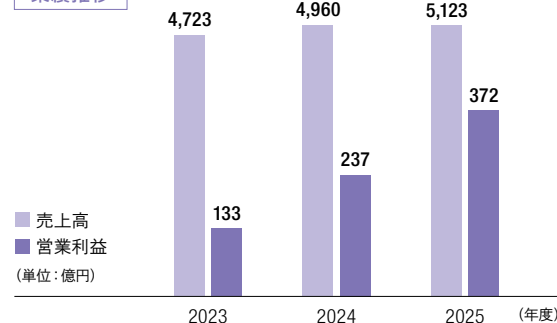
振り返り

- 包装関連は製造拠点再編やコストダウンにより収益体質が改善。
- 生活空間関連はモビリティ関連との組織統合による効率化と成長力強化を実施。

2025年度売上概要

- 産業用高機能材関連：車載向けバッテリーパウチが米国のEV向け補助金終了の影響を受けるも、太陽電池関連部材が増加。
- モビリティ関連：自動車向け加飾フィルムは内装用中心に堅調に推移したほか、DNP光金属と、ハイエンドHMI領域に事業拡大を推進。
- メディカル・ヘルスケア関連：医療用パッケージが好調に推移したことに加え、医薬品の原薬事業・製剤事業も堅調に推移し、前年を上回った。

業績推移



ポートフォリオの変革の考え方

事業拡大の可能性を確認し、無菌充填システム関連を新たに成長ポテンシャル事業として設定したほか、構造改革の成果によって収益性を確認し、包装関連を再構築事業から基盤事業へ転換した。

注力事業への積極投資

- モビリティ&リビング関連：DNP光金属（2025年2月にグループ会社化）とのシナジーでHMI (Human Machine Interface) 関連部材を拡大するとともに、グローバルも視野に事業を拡大。
- 産業用高機能材関連：バッテリーパウチの次世代電池への拡大、太陽電池関連の生産増、他産業用途への各種機能性フィルム関連製品の展開などで成長を加速。

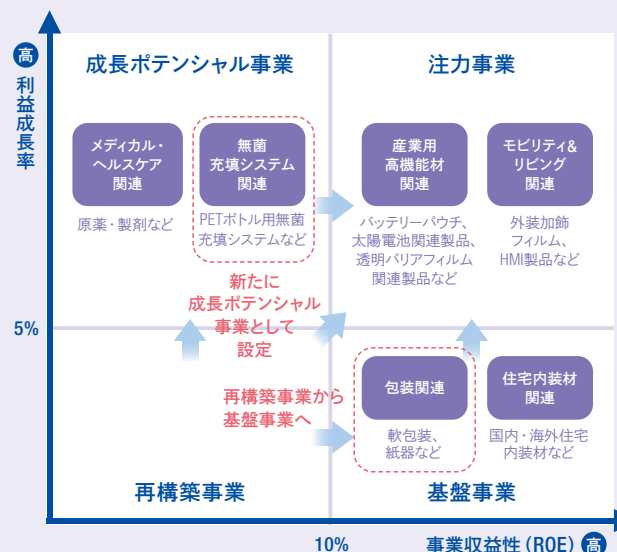
新たな価値の創出と構造改革

- 包装関連／生活空間関連：継続的に構造改革を行い、さらに強い収益体質を確立。
- 産業用高機能材関連／包装関連：グローバルを見据えた高付加価値フィルム関連製品を開発し、新たな価値を創出。

新たな注力事業の育成

- 包装関連：国内トップシェアの無菌充填システムについて、グローバル市場に領域を拡大。
- メディカル・ヘルスケア関連：シミックCMOや協和ファーマケミカルとの連携により原薬・製剤・包装の一貫したビジネスを展開。

ポートフォリオの変革



※各事業の各象限での位置は利益成長率、事業収益性 (ROE) の高低を表すものではありません。

セグメント全体営業利益計画

